

市の出来事から

2人の百歳長寿は市と同じ誕生日

市が1周年を迎えた2月20日、百歳長寿が2人誕生しました。

菊池榮二郎さん（江刺区藤里字外ノ沢）と、高橋マサノさん（胆沢区小山字伊勢堂）は、くしくも誕生日が明治40年2月20日。2人はそれぞれ佐藤雅士（江刺区長）、桜田昭史（胆沢区長）ら、記念品として岩谷堂（筆筒）の小筆筒が贈られました。



家族や桜田胆沢区長に囲まれ笑顔を見せる高橋さん（写真上）、佐藤江刺区長から記念品を受け取る菊池さん（写真右下）

現在は養子の一夫さん（66）夫妻との3人暮らし。2月17日に妻との3人暮らせました。



は親戚らによる祝賀会に出席し、元気な姿を見せていました。

高橋さんは衣川区北股出身。21歳で結婚し、3男4女に恵まれました。現在は、二男の昭さん（72）夫妻と3人で暮らしています。話ををするのが好きで、いつも周囲に感謝の言葉を掛けているそうです。2月18日には、高橋さん宅に親戚らが集まり長寿を祝いました。

2月3日、胆沢区の小山公民館でバイオエタノールシンポジウムが開催されました。
バイオエタノールとは、サトウキビ、トウモロコシ、廃木材

米を生かした新エネルギーの研究

2月3日、胆沢区の小山公民館でバイオエタノールシンポジウムが開催されました。農作物である米を原料とする「新エネルギーバイオエタノール」を策定。主要な特産品の販売、観光関連イベントなどを行っています。



東京農大の鈴木昌治教授がエタノール化の現状と課題について講演



厚生労働大臣表彰



佐々木 勝忠さん（56）
衣川区六道

国保衣川歯科診療所の佐々木勝忠所長が、国民健康保険事業への長年の貢献により、このほど厚生労働大臣表彰を受賞しました。

昭和55年に同診療所長に就任。以来、治療や地域の歯科保健活動などに尽力されました。

旧胆沢町では平成15年にエネルギーの自給を目指して「新エネルギーバイオエタノール」を策定。主要な農作物である米を原料として、効率的に精製する研究が進められてきました。これを合併後も重点事業として引き継ぎ、昨年12月には胆沢区で現地試験も行われています。シンポジウムには市内外から約120人が出席し、研究の取り組み発表や講演に熱心に聴き入っていました。

おレ元気ピ

地産地消応援メニュー⑫

ピラフ



材料（4～5人分）

米	3カップ
玉ねぎ	1/2個
ニンジン	少々
ベーコン	2枚
枝豆	30g
バター	大さじ2
塩	小さじ1
スープストック	700cc
戻した大豆	3/4～1カップ

作り方

- 米は水洗いしてザルに上げ、水気を切っておく
- 玉ねぎ、ニンジン、ベーコン、枝豆はみじん切りにする
- 鍋にバターを溶かし、みじん切りにした野菜とベーコン、大豆、枝豆を炒る。そこへ米を加えてさらに炒め、塩、こしょうで味を整える
- 電気炊飯器に移して、スープストックを加えスイッチを入れる

わたしたちが作りました

胆沢学校給食センター

大豆に多く含まれるカリウムは、高血圧の原因となる塩分を体外に排出する働きがあります。



2月15日、給食に登場したピラフを食べる南都田小3年2組の児童

消費者金融（サラ金）とのトラブル

（相談者 30代男性）

Q どうしてもお金が必要になり、電話帳で見た市内の某消費者金融に電話をしました。しかし、その業者は引越しをしていて、盛岡で営業しているとのことでした。盛岡営業所からは「審査の結果、100万円まで融資ができるので盛岡まで来るよう」と言われました。

約束の日時に車で出向くと、そこで初めて連帯保証人のことを説明されました。電話では保証人の必要性を聞いていなかつたので断わろうとしたら、業者の態度が一変し「お金は用意してあるので断ることはできない」と脅すような口調でまくし立てられました。不安になり、仕方なく母親に保証人を頼み込みました。

業者が「今すぐ署名をもらつてこい」と言うので自分の車で行こうとしたら「タクシー代は会社が支払うから」とタクシー

A 消費者金融にもさまざまな対応があります。貸金業法で厳しく規制されていますが、違反に近い対応をしている業者もあるようです。昨年は消費者金融に關し、金融庁から営業停止などの措置を受けた業者が数社ありました。

（水沢総合支所市民課相談係）

を呼んでいました。母から署名をもらって事務所に戻ると、タクシー代を差し引いた借入金を渡されました。

契約関係書類は一切渡されませんでしたが、契約を解除することはできないでしょうか。

この事例については、相談係の助言を受けた後に本人が交渉し、契約解除になりました。タクシー代については、県産業振興課の金融担当に報告し、指導してもらうことになりました。

常盤小学校児童の皆さんのが明るく元気な市民憲章の朗読が始まりました。「わたしたちは、歴史・伝統・自然に恵まれたこのまちの市民であることを誇りとし、さらに良いまちをめざして市民憲章を定めます：（以下略）」

およそ530人の「奥州市」誕生1周年記念式典出席者がじっと聞き入っています。その前段では、市の花鳥木の披露がありました。

お元気ですか
木長です！



奥州市長
相原正明

「副県都」は、県都（岩手県の場合は盛岡市）に次ぐ都市のイメージですが、今後、県都に匹敵する都市を創造する構想で、目標すべき都市像として表現されています。

